

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
四万十市	四万十市	平成 28 年度～令和 3 年度	平成 28 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成27年度)	目標 (割合※1) (令和 3年度) A	実績 (割合※1) (令和 3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	3,132 t	2,700 t (-13.8%)	3,066 t (-2.1%)	15.2%
	1 事業所当たりの排出量	1.31 t	1.17 t (-10.7%)	1.24 t (-5.3%)	49.5%
	生活系 総排出量	8,886 t	7,710 t (-13.2%)	8,652 t (-2.6%)	19.7%
	1 人当たりの排出量	237 kg/人	219 kg/人 (-7.6%)	265 kg/人 (11.8%)	-155.3%
合 計 事業系生活系総排出量合計	12,018 t	10,410 t (-13.4%)	11,718 t (-2.5%)	18.7%	
再生利用量	直接資源化量	0 t (- %)	0 t (- %)	0 t (- %)	-
	総資源化量	3,171 t (26.4%)	2,960 t (28.4%)	2,818 t (-11.1%)	-18.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	3,427 MWh	2,970 MWh	3,481 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	0 t (0.0%)	0 t (0.0%)	0 t (0.0%)	-

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和 3年度) A	実 績 (令和 3年度) B	実績/目 標※3	
総人口	34,688 人	32,800 人	32,653 人	99.5%	
公共下水道	汚水衛生処理人口	8,828 人	8,398 人	8,100 人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25.45 %	25.60 %	24.81 %	-426.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	713 人	685 人	648 人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.06 %	2.09 %	1.98 %	-266.7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	18,538 人	18,778 人	19,139 人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	53.44 %	57.25 %	58.61 %	135.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	6,609 人	4,939 人	4,766 人	

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有料化	四万十市	地域において発生する一般廃棄物の有料化により発生抑制に資する。	H28～R03 (H28～R03)	<ul style="list-style-type: none"> 指定ごみ袋：大 60 円/枚、小 50 円/枚、特小 30 円/枚 粗大ごみ指定証票：100 円/個 直接搬入ごみ：130 円/10 kg
	12	ごみ分別排出の普及啓発	四万十市	広報等により、分別排出を周知徹底することにより、資源回収率の向上に資する。	H28～R03 (H28～R03)	<ul style="list-style-type: none"> 広報への掲載 家庭ごみ減量推進員への研修実施
	13	マイバッグ運動	四万十市	市民団体、事業者、市が協定を結び、市内量販店における無料レジ袋配布を中止し、マイバッグの持参を促進する。	H28～R03 (H28～R03)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度平均レジ袋辞退率 83.6% 市広報、ホームページ等でのマイバッグの取り組みの啓発活動
処理体制の構築、変更に関するもの	—	—	—	—	—	—
処理施設の整備に関するもの	1	し尿処理施設の基幹的設備改良事業	四万十市	稼動開始後 14 年を経過したクリーンセンター西土佐において、延命化、高効率化及び温室効果ガス排出量削減を目的とした施設整備を行う。	R01～R02 (R01～R02)	<p>クリーンセンター四万十では、設備の老朽化や損耗が著しい設備が多く見られたことから、低下した設備能力の回復とともに高効率化及び温室効果ガス排出量の削減を図ることを目的とし、基幹的設備改良事業を実施した。この事業における改修により、同事業の要件である CO₂ 排出量 3% 以上削減を達成 (30.07%削減) した。</p> <p>(施設の概要) 処理能力：9kL/日 (変更なし) 処理方式：高負荷脱窒素処理方式 (変更なし)</p> <p>(事業費) 基幹的設備改良工事費 ： 299,200 (千円) 施工監理費 ： 8,756 (千円)</p>
	2	浄化槽設置整備事業	四万十市	市内において、生活排水処理施設として合併処理浄化槽の設置を推進する (集合処理区域として計画している区域を除く)。	H28～R03	補助事業による整備実施 5 人槽：428 基 7 人槽：118 基

					(H28~R03)	10人槽：8基 合計：554基
--	--	--	--	--	-----------	--------------------

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
施設整備に係る計画支援に関するもの	21	事業番号1に係る仕様書等作成事業	四万十市	基幹的設備改良事業のための発注支援業務	H30 (H30)	この業務で策定した発注仕様に基づき、事業1を発注し、所定の性能要件を満たすことができた。 (委託費) 5,076 (千円)
	22	事業番号1に係る長寿命化総合計画策定支援事業	四万十市	基幹的設備改良事業のための長寿命化総合計画策定業務	H30 (H30)	この業務で策定した延命化計画に基づき、事業1を実施し、所定の性能要件を満たすことができた。 (委託費) 4,860 (千円)
その他	31	家庭ごみ減量チャレンジ事業	四万十市	市内の各地区及び福祉事業所が再資源化業者と直接契約し、売却益を地区の収入とすることでごみ減量とリサイクル率の向上を図る。	H28～R02 (H28～R03)	当該事業により市民へのリサイクル意識の向上に寄与してきたが、資源ごみの買い取り価格の低下や地区の負担が大きいためなどから、令和2年度で終了した。 ○実施地区 平成28年度 56地区 平成29年度 56地区 平成30年度 53地区 令和元年度 53地区 令和2年度 36地区

3 目標の達成状況に関する評価

四万十市循環型社会形成推進地域計画（変更 令和2年11月）において、掲げた目標については、二酸化炭素排出削減量3%以上に対して、実際の削減量は30.07%と大きく上回るとともに「ごみ処理」におけるエネルギー回収量についても実績値3,481MWhと目標値2,970MWhを大きく上回ったものの、「ごみ処理」における排出削減及び再生利用量については、目標未達成となった。

また、「生活排水処理」における公共下水道の汚水衛生処理人口は8,100人、汚水処理人口普及率は24.81%といずれも目標値である8,398人、25.6%を達成することが出来ず、農業集落排水施設についても、汚水衛生処理人口は648人、汚水処理人口普及率は1.98%といずれも目標値である685人、2.09%を達成できなかった。

ただし、浄化槽の汚水処理人口及び普及率については、目標18,778人、57.3%に対し、実績19,139人、58.6%と目標を達成するとともに、その結果として、汚水衛生未処理人口も大幅に減少し、令和3年度末時点での汚水衛生処理人口割合の目標84.94%に対して、実績85.40%と目標を達成出来た。

今後も、公共下水道及び農業集落排水施設の整備区域外では、合併処理浄化槽による生活排水処理の推進を継続していきたい。

（都道府県知事の所見）

別紙のとおり